

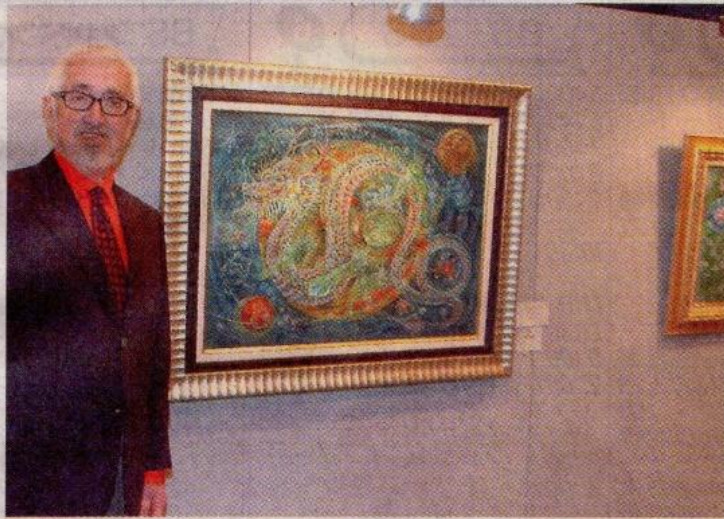
ピカソなど250点展示、販売

鳥栖でチャリティー絵画展

ピカソやシャガール、東山魁夷など、国内外の画家の作品約250点を展示、販売するチャリティー絵画展が19日、JR鳥栖駅前のサンメッセ鳥栖で始まった。21日まで。

作品は1点5万〜200万円。収益金は主催者で障害者の生活を支援するNPO法人「しょうがい生活支援の会すみか(鳥栖市)の活動資金のほか、東日本大震災で被災した障害者への寄付金に充てられる。

会期中、作品を出したオーストリア在住の画家、ミヒヤエル・クレーデンホーフ・カレルギーさん(73)が午前11時と午後2、4時の3回、会場でサイン会を開く。ミヒヤエルさんは明治時代に日本で初めて正式な国際結婚をしたクレーデンホーフ光子の孫で、EU(欧州連合)構想の基盤である「パン・ヨーロッパ運動」を提唱したりヒヤルト・クレーデンホーフ・カレルギーのおい。



チャリティー絵画展で展示された自作の前に立つミヒヤエルさん

を購入すると、額の裏側に直筆メッセージが入る。午前10時〜午後6時。入場無料。実行委0942・83・7638。
【遠藤雅彦】